

# Weekly Report

Rain No Rainbow ~笑顔で親睦、友情の輪を広げよう~



創立 昭和56年3月4日 例会場 名古屋東急ホテル 中区栄4丁目6番8号 TEL(052)252-8658  
 例会日 毎週水曜日12:30~13:30 事務局 名古屋市中区栄4丁目6-3岡崎ビル北館2A TEL(052)253-9075  
 会長: 足立陽一郎 幹事: 玉置 正樹 会報委員長: 杉浦 定文 題字: 遠藤 友彦

## Meeting Report 例会報告

- 本日の例会 (第1951回) 1/25 (水)  
ゆったり例会を開催します。
- 次回の例会 (第1952回) 2/1 (水)  
愛知県北警察署PR・優良警察官紹介動画
- 第1950回例会記録 1/18 (水) 晴  
司会 岩田 満治 君  
斉唱 RS/四つのテスト

## Attendance Report 出席報告

会員数	31名	前々回訂正	1948例会
欠席会員数	11名	欠席会員	3名中
出席会員数	20名	MAKE UP	1名
出席率	64.52%	出席率訂正	92.00%

## President Greeting 会長挨拶

副会長 梶川 久雄



最近読んだ週刊誌の記事で大変気になる記事がありましたので紹介させていただきます。

少子化に打つ手なし「ディストピア日本」の未来図 河合雅司 (1/19週間新潮迎春増大号-40~44P-) 人口減少が、政府の予想を上回る勢いで進んでいます。年間出生数が100万人を下回る「ミリオンショック」となったのは16年(97万7242人)だが、それからわずか3年後の19年には80万人台に突入する異常な速さで減っていきました。

加えて、コロナ禍が出生数の減少に一層の拍車をかけた。非嫡出子が少ない日本においては、婚姻件数が減ると翌年の出生数も連動して減る傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症が拡大した20年と前年19年を比べると12.3%もの大激減となったのです。

21年はさらに4.6%も落ち込みました。

この結果、21年の日本人の年間出生数は前年より3万人ほど少ない81万1622人となり、22年はついに80万人を割り込む見通しです。

婚姻件数は22年も力強い回復が見られず、出生数の急落傾向は23年以降も続くものとみられ、出生数の減少が避けられない以上、日本の人口減少は止まりません。

現在の政策で圧倒的に足りないのは、人口減少への備えのほうです。

喫緊の課題であるにもかかわらず、政府や国会が少子化対策ばかりに力点を置いてきたため、ほとんど手つかずできました。

人口減少社会の未来図をしっかりと把握しなければ、人口が減っても経済を発展させ、社会を維持し得る方策を考えることはできません。

人口減少は日本社会をどう変質させていこうというのか。まずは経済に与える影響です。

国内マーケットの縮小や勤労世代の減少。国内マーケットの縮小というのは単に実人口が減少するだけでは済まないのです。

高齢化率は伸び続けており30年代半ばまでに消費者の3人に1人が高齢者となるが、高齢になると現役時代のように収入が得られなくなるのと、収入の低下と老後生活の不安で財布のひもが固くなっていきます。

そうでなくとも、加齢に伴って食べる量が減り、住宅などの「大きな買い物」をする人は少なくなります。

今後の国内マーケットは、実人口が減ると同時に1人あたりの消費額が縮小する「ダブルの縮小」に見舞われるのである。

その他、人々滅による日本社会への影響事例は紙面の都合上割愛させていただきます。

## Table Speech 卓話

### 職業奉仕月間卓話

職業奉仕委員会 委員長 祖父江佳乃さん



ロータリーの職業奉仕とは、個人の職業倫理に基づいて、その心を職業社会に実践するもの。倫理を学び、人間の人格を持って初めて職業社会に、そして社会的弱者に対し奉仕ができる。職業とは、生計を維持するために、人が日々従事する仕事。「職業に貴賤なし」福沢諭吉

『学問のすすめ』明治13年刊行  
どのような仕事も社会に必要とされている。

働くこと、職務を全うすること、労働をして稼ぐことは等しく貴いこと。

人を仕事の内容によって差別すべきではない。  
天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず といへり  
されども今広く此人間世界を見渡すに賢き人あり愚かなる人あり貧しさもあり富めるもあり下人もありてその有り様雲と泥との差ありただ学問を勤め物事をよく知る人は貴人となり

人は生まれながらに貴賤が決まるものではない。  
行為によって賤しい人ともなり、行為によってバラモンにもなる。

あるとき、お釈迦さまが弟子たちと托鉢（たくはつ）に出かけられました。

しばらくして、行く手が二股に分かれていましたが、お釈迦さまが右に歩まれるとお弟子の一人が言いました。「お釈迦さま、失礼ですが、道を間違われたのでは？こちらの道は、大変貧しい者の住む集落に向かいます。最近の飢饉で餓死する者まで、出ているところです。そんな村に托鉢に行かれても、布施する人はいないでしょう。

反対の道ならば、大地主や大商人たちの住む町ですから、布施する人も多くありましょう」それに対して、お釈迦さまは、こう仰有いました。

「道を間違えてはいない。この道が、貧しい村に通ずることは知っている。貧しい中から、米一粒でも布施をし

て、功德を積むならば、それにより、彼らは今の苦しい状態から、抜け出せる。

布施をすることで誇りが生まれる長者の万灯よりも貧者の一灯、布施の尊さは量にはよらない。」

布施行である奉仕は誇りです。

その誇りによって、職業は支えられます。

だからこそ貴賤なしであり、学び続けなければならないのです。



ロータリーの友誌2023年1月号職業奉仕月間特集へ祖父江佳乃さんが選ばれました。

## Golf Association ゴルフ友の会

1月19日（木）志ら玉にてゴルフ友の会新年会が開催されました。



## Smile Box ニコボックス

梅村美知容さん 本日もよろしく。

【足立会長、お大事にして下さい！！】

玉置 正樹君 岩田 満治君 渡邊 泰彬君 入江由希子さん  
梶川 久雄君 梅村 篤君 西村 努君 祖父江佳乃さん  
杉浦 正文君 伊藤 晋一君 中島 宗幸君 吉村知紗さん  
柴山 利彌君 梅田 渉君 加藤 昌之君 中野愛弓さん  
近藤 朗君 宇都木 寧君

